

令和7年度 第4回大東市総合計画・総合戦略審議会 会議要旨

1. 開催日時 令和8年1月21日(水)午後2時～3時20分

2. 開催場所 大東市役所 南別館会議室

3. 出席者

審議会委員

・1号委員(市議会議員)	東 健太郎	委員
・1号委員(市議会議員)	安田 恵子	委員
・1号委員(市議会議員)	水落 康一郎	委員
・2号委員(学識経験者)	三 吉 修	委員
・2号委員(学識経験者)	澤 登 千 恵	委員(欠席)
・3号委員(行政機関)	関本 武史	委員
・4号委員(市民代表者)	品川 公男	委員
・4号委員(市民代表者)	住川 奈美	委員
・4号委員(市民代表者)	保村 涼太	委員
・4号委員(市民代表者)	藏前 芳治	委員
・4号委員(市民代表者)	松崎 勝美	委員
・4号委員(市民代表者)	原田 泰志	委員
・4号委員(市民代表者)	吉田 夏樹	委員(オンライン)
・4号委員(市民代表者)	川崎 智恵香	委員(欠席)
・4号委員(市民代表者)	高橋 黎也	委員(欠席)

事務局

・政策推進部長	野村 政弘
・政策推進部総括次長兼戦略企画課長	福田 悦子
・政策推進部戦略企画課課長補佐	北谷 友香
・政策推進部戦略企画課上席主査	廣田 菜美
・政策推進部戦略企画課係員	松井 智輝

4. 案件

- ・第5次大東市総合計画(後期計画)及び第3期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略 最終案について
- ・その他

5. 配布資料

資料1 総合計画改訂案

資料2 総合戦略改訂案

資料3 【参考】巻末資料

資料4 【参考】KPI進捗管理表

資料5 答申案

資料6 総合計画・総合戦略審議会論点

6. その他

傍聴希望者 0名

7. 発言要旨(協議または調整が行われた事項及びその内容)

【事務局】

ただいまから、令和7年度第4回大東市総合計画・総合戦略審議会を始めさせていただきます。

皆さまにおかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

前回は、昨年12月に、第3回審議会を開催し、「総合計画」と「総合戦略」の改訂案について、皆さまからご意見を頂戴いたしました。4回目の会議となる今回は、「総合計画」と「総合戦略」の最終案と総合戦略のKPIの進捗管理表をお示しさせていただくとともに、これまで皆さまより審議会でもいただいたご意見を踏まえ作成いたしました答申案についてご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

はじめに、「大東市審議会等の公開に関する規程」第3条第1項におきまして、本審議会は公開する旨規定しており、傍聴を認めておりますが、本日の傍聴の申し込みはございませんでしたのでご報告申し上げます。

また、本日の会議要旨を後日ホームページ上で公開させていただく予定にしておりますので、ご了承のほどをお願いします。

なお、吉田委員につきましては、本日はオンラインでのご参加、また、澤登委員、川崎委員、高橋委員につきましては、本日ご欠席のご連絡をいただいておりますので、あわせてお知らせいたします。

それでは、本日初めてご出席される、保村委員に自己紹介を兼ねて、簡単に一言ごあいさつを頂戴できればと思います。

(委員あいさつ)

それでは、配布資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

すべてお揃いでしょうか。

それでは、ここからは、大東市総合計画・総合戦略審議会規則第3条第1項の規定により、三吉会長に議事進行を行っていただきたく存じます。

三吉会長、どうぞよろしくお願いいたします。

【会長】

皆さま、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

それでは、早速始めさせていただきます。

まずは、本日配布された資料につきまして、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料の説明)

【会長】

事務局より、「総合計画」と「総合戦略」の最終案、KPI進捗管理表、答申案について説明がありました。最初に、先ほどの説明にありました、総合計画と総合戦略の総称について、事務局からは、現行計画に引き続き「幸せデザイン 大東」としたい、との説明がりましたが、これについて、何かご意見はありますでしょうか。

【各委員】

<特に問題なし>

【会長】

それでは引き続き「幸せデザイン 大東」ということで進めていただければと思います。

それでは議論に移りたいと思います。

事前に皆さまにお聞きしたい事項について事務局より3点お示しがりました。

1点目は、総合計画案について、今回、達成指標の目標値の追記や国の動向を最新の内容にするなどの修正を行ったということですが、この達成指標の目標値の考え方やそのほかの修正内容について、ご意見をいただきたく思います。

2点目は、総合戦略案の各施策のKPIについて、別表として進捗管理表を作成したということですが、このKPIの内容や目標値について、修正すべき点等がないか、ご意見をいただきたく思います。

最後に3点目として、答申案について、これまでの審議会での皆さまからのご意見を取りまとめて案を作成したとのことですが、この内容について、追加や修正すべき点がないか、ご意見をいただきたく思います。

3つの論点のすべてでも、どれか1つでも構いませんので、ご意見をお聞かせいただければと思います。

全員からご意見を頂戴したいため、お一人3分程度を目安に、お話しいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【委員】

特に修正すべきところはないように感じます。

一つ意見としては、様々な自治体で総合計画や総合戦略を作られて政策を展開するというのをされていますが、職員目線になったときに、どうしても総合計画や総合戦略が形骸化してしまうところがあるように感じています。いかに職員の皆さまに普段から身近なものとして感じて使っていただけるものにするのかというところが、出来上がったものをうまく活用するためのポイントだと考えます。

そのためには、毎年その進捗確認等をする以外にも、例えば新規施策を立案するときには、生成AIサービスのファイルアップロード機能で、最新の総合計画・総合戦略をアップロードして、今考えている施策が総合計画・総合戦略に沿っているのかをAIに判断してもらったり、アドバイスをもらうといった、職員の皆さまに普段使っていただけるような仕組み作りというものを進めていく必要があるということを感じました。

【会長】

委員のご意見にもあったように、過去には各自治体で作った総合計画が作りっぱなしになっているという話をよく聞きました。しかし、大東市では第3次総合計画で市民と職員が一緒になって作成した経験から、新しい施策を実施する際には必ずこの総合計画にマッチしてるのかということを検討するような習慣が増えたということをお聞きしたことがあります。そのような習慣が根付いているとは思いますが、今、委員がおっしゃったように、総合計画・総合戦略を常に職員が念頭に置きながら事業を進められるようにしていただきと思います。

【委員】

答申については概ねこれでいいと感じています。

資料4のKPIの関係で、(1)の3つ目に自治会運営の支援の強化として、自治会加入率の増加とあります。そのKPIとして、令和6年度の実績は70%で、令和12年目標値70%になっています。今現在、私が認識している実質加入率は64.7%程度だったと思います。市民政策課がまとめて正確な資料を持っていると思うので、現在の実績値を確認してもらえればと思います。

次に、(2)の市営住宅の耐震化の早期着手・推進は、目標値も実績値もないですが、数値化するのが無理だったのかということをお聞きしたいと思います。

昨年実施した国勢調査の結果が、想定している結果になるのか、それとも予想外の結果になるのかということが現在まだ分からないので、今回の改訂に反映するという点については時間的に困難かと思っています。

私が先日読んだある本には、2035年度の人口予測の推移を踏まえた全国の私鉄・JRの利用者の減少の表がありました。大阪・兵庫・京都のJRの利用者の推移の中で、ワースト28位に四条畷駅があり、利用者が2800人ほど減る。そして78位に野崎駅があり、2250人ほど減る。住道駅が105位で2000人以上減るということでした。パーセンテージにして今の利用者と比べて四条畷駅が13%以上、野崎駅が10%以上、住道駅が10%減少するというような数字が出てきて、大変衝撃を受けました。

アンケートの取り方によっていろいろと差が出てくるため、一概にこれが正しいとは思いませんが、私が想像していた以上の減少でした。総合計画で人口減少に歯止めをかけることを目標としている中で、これらのことを考慮していく必要があるのではないかと感じました。

【会長】

今委員がおっしゃった駅の乗降客数のおよそ10年後の状況について、事務局は把握されているでしょうか。

【事務局】

駅の乗降客数の情報は把握しておりませんが、将来の人口推計については把握しており、それは国勢調査をもとに、国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研という。)において推計されています。先ほど委員がおっしゃったように最新の国勢調査はまだ結果は出ておらず、5年前のデータをもとに将来推計をしたもので申しますと、大東市の2035年の生産年齢人口、15歳から64歳までの人口ですが、2020年を起点にしますと16%減ると予測されております。おそらく駅の利用者の多くは、働き世代

の方や学生の方などだと思いますが、ちょうどこの世代の減少と駅利用者の減少がリンクしている数字ではないかと今お聞きしながら思ったところです。

先ほど人口目標のところ、転出率を抑制するというお話をさせていただきましたが、こちらについても社人研の推計をもとに計算をしています。若い世代の転出が続いていこうという推計のもとで、転出をこれくらい抑制すれば、社人研推計を下回らずに何とか維持できるのではないかとという目標値を算出した結果となります。

【委員】

修正点等は特にありません。大東市をより良くしていただければありがたいと思います。

民生委員として地域活動をしている中で、人口がどんどん減少してきており、充足率が70%くらいとなっています。大阪府内では最下位ではないのですが、北河内地区では最下位となっています。この計画にも自治会支援の強化というものがあるので、うまく進んでほしいと思っています。

【委員】

総合計画と総合戦略内に注釈や用語集をつけて分かりやすくしている点については、高く評価したいと思います。

KGIとKPIについては、適正なレベルかは分かりませんが、非現実的な数値ではなく、現状よりも改善を示す数値、あるいは悪化しているのを認めるという意味で現状維持ということを示す数字になっていますので、その実現を期待しています。

前回も申し上げたかもしれませんが、計画や戦略を進めるにあたっては、多くの市民の皆さんと共有していくことが重要だと思いますので、いろいろな機会を捉えて、説明したり、取組の協力を呼びかけていただければと思います。

計画の完成後は、環境に応じて見直す、とされており、いいことだと思いますが、見直しにあたってはなぜ見直しをするのかといった状況変化を説明することも大切だと思います。やむを得ないことがあったのか、環境の変化があったのか、見通しが甘かったのか、取組が悪かったのかなどがあると思います。あるいは、様々な努力によって、想定以上の成果を上げたので、もう少し目標を高くするということがあってもいいと思いますので、しっかりと検証をしながら進めていただきたいと思います。

【委員】

各種施策に取り組んでいくことで、大東の魅力の向上や、ブランドの向上の実現につながっていき、定住意欲の向上につながると考えています。

金融機関としては、産業や就労や空き家対策で、連携できる部分もあると思うので協力していきたいと考えています。トライ&エラーをしながらいいものにしていただきたいと思います。

【委員】

総合計画の5ページに句読点が余分に入っていますので削除をお願いします。

KPIの情報発信に関して、発信と周知が混在している印象です。発信が多ければ周知につながるといってもあると思いますが、1年間3800件を発信ということは1日10数件になると思いますの

で、逆に情報が埋もれていく可能性も出てきます。このことも踏まえて、周知について検討していただきたいと思います。

実績値のデータで、例えば産業分野では令和2年度のものなどもありますので、できる限り令和6年度や7年度の最新のものと設定するのがいいと思います。

【会長】

所々に令和2年度などのKPIが見受けられ、それを最新のものにしてはどうかということでしたが、事務局から説明はありますか。

【事務局】

データの元になる国の調査が5年に1回しかないものを指標として用いている場合もあり、どうしても数値が出ないという事情があります。人口についても、今ちょうど国勢調査をしておりますので、おそらく来年か再来年ぐらいに次の最新の結果が出ると思います。その時点でもう一度設定をし直すということになると考えています。

情報発信につきまして、発信とそれが実際に届いているのとは少し違うのではないかというご意見を頂戴しました。まさにその通りで、内部でも検討したのですが、本市の状況としては、まず発信することが足りていない初步の段階だということで、まずは発信をする。次に、それが実際に届いて、大東のことを知って行動変容につながる、というステップを踏んでいく必要があるのではないかと考えております。そこで、まずは発信の強化として、5年間はこのような目標値とさせていただいております。

発信数が多すぎると情報が埋もれてしまうのではないかとということですが、大東市全体のホームページの発信数を、今よりも少しずつ増やしていければということで、この目標値を設定させていただきました。各部署がそれぞれホームページを上げることになるのですが、例えば新しい取組を打ち出したときに、発信とセットでやっていくような形で庁内意識の向上を図っていきたいと考えており、このような数値とさせていただいております。

【委員】

健康分野のKPIでがん検診受診目標値と実績値が示されていますが、がん検診の種類ごとに変えているということでしょうか。

【事務局】

検診の種類が分からないような資料になっておりますが、がんの種類によってそれぞれ目標値を設定しておりまして、上から、特定健診、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診の受診率を記載させていただいております。

最終の参考資料の段階では、がんの種類が分かるような表現にします。

【会長】

「けん診受診に対する啓発強化」という部分で、「けん診」の「けん」が平仮名で表記されていますが、特定健診などは健康の「健」、各種がん検診の場合は検討の「検」となっています。この二つのけん診を

あわせて表記するという事で、平仮名の「けん診」としているということによろしいですか。

【事務局】

その通りです。

【委員】

総合計画・総合戦略とも、「住み続けたい」ということを分かりやすく修正していただいたので、分かりやすくなったと思います。

その中で何点か確認させていただきたいのですが、総合計画の方で、今回目標を「転出を抑制する」ということで数値を設定されていますが、過去の審議会でもいただいた資料から計算するとだいたい転出率は4%くらいだったと思います。今回の資料の数値では現状値が3.5%となっておりますが、これは誤差の範囲なのか確認をお願いします。また、ここ15年ほどは4%くらいで推移しているので、目標値として3.3%がふさわしいのか確認いただきたいと思います。

また、総合戦略の重点分野で、難しい言葉があります。用語解説はありますが、文章中で表現できるのであれば対応した方がいいのではないかと思います。また、解説は巻末ではなく、当該ページの中で示した方がよいと思います。例えば、危機管理の徹底の中で、「地下貯留」や「増補幹線」という文言は、一般の方には分かりにくいと思うので、一般の方が読んだ時に分かりやすい表現にした方が理解が深まるのではないかと思います。

同じくKPIについても、まだ検討中ということでしたが、分かりやすいものにしていただければと思います。例えば、新庁舎整備の早期着手の項目で、「進捗率60%」とありますが、何をもって60%とするのか分かりにくいので、イメージをつきやすいものに工夫された方がよいと思います。

答申については、3の「高齢化社会の進展を見据えた交通移動サービスの展開」は、先ほどの事務局の説明では移動施策をどうするかという補足の説明があったので分かったのですが、ここに書いてある文章だけでは、どういうことを言われているのか分かりづらいです。4の「空家や遊休地など未利用財産を活用した誘致や起業を促進すること」というのも、もう少し言葉を足していただく方がいいのではないかと思います。

5の「デジタルデバイド」についても、ここでこの言葉を使う必要はないのではないかと思います。文言の解説の言葉を文中に入れ込んだ方が分かりやすいと思います。

【会長】

市民にも分かりやすい表現をした方がいいというご意見でした。

総合計画・総合戦略では、デジタルデバイドの用語解説があるのですが、答申にはないため、答申を読んだだけでは分からないと思います。一般的に周知されている言葉を用いるようにした方がいいのではないかと思います。

【委員】

これまで、委員の皆さまのいろいろな意見をお聞きする中で勉強になることも多く、市政にも取り入れていければと感じています。

総合計画・総合戦略の改訂案について、大きく変更してほしい点はないのですが、今回各課からKPIの指標が示されたことは、これまで以上に施策が見える化するという点で大きな前進だと思います。一方で、民間と違い、行政はKPIが達成できなかったからといって、直接的な影響があるわけではないと思います。そのため、どうしても緊張感が緩みやすい側面があると思います。

計画を作成して終わりに終わらないように注意していただき、KPIが何のために設定されているのか、達成できなかった場合にどう検証して、どう改善につなげていくのか、さらに、どの水準まで達成できなければ見直しや廃止を判断するのか、そういった運用の考え方を明確にしていくことも大事だと思いますので、よろしくお願いします。

KPIは、より良い市民サービスにつなげるための道具だと思います。達成・未達成の結果を次にどう活かすのか、PDCAでいえば、特にCAの部分をしっかり回していただければと思います。

総合計画・総合戦略は策定して終わりではなく、実行して検証して、必要であれば立ち止まって見直すことも重要だと思います。今後もしっかり確認しながら、見させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【委員】

これまでの皆さんのご意見をお聞きして、なるほどという気づきがありました。総合計画・総合戦略・答申案、いずれも意見はありません。

【委員】

これまでの5年間も政権が変わるなど大きな動きがありましたが、この先の5年間も様々な変化があるのだろうと思います。

KPIについては、実績値を見て、この目標値が妥当かどうか、トレンドを踏まえて適正かどうか、というのをしっかりと見ていく必要があると思います。しっかりと庁内の意識を揃えて進めていくことが大切だと思います。

今ちょうど予算編成の最中だと思いますが、総合戦略と連動して予算編成を進めていただきたいと思います。

【会長】

これまでの委員の皆さまからのご意見を踏まえて、質問や意見がある場合や、論点以外の点でご意見等がある方はご発言をお願いします。

【委員】

巻末資料は、今後どう使われていくのでしょうか。パブリックコメントなどもここに入ってくるのでしょうか。

【事務局】

総合計画・総合戦略・巻末資料をあわせて議会に提出する予定としています。

パブリックコメントについては、ご意見に対する対応も含めて、ホームページで公表する予定です。

【会長】

他にどなたかご発言はありますでしょうか。

それでは、事務局には、ただいまの意見を踏まえ、総合計画・総合戦略案の修正を進めていただきませうようお願いし、本日の議題は以上で終了させていただきたいと思います。なお、本日の皆さまからのご意見を踏まえた最終の答申及び総合計画・総合戦略の微修正等につきましては、私に一任していただくということで、よろしいでしょうか。

【各委員】

<異議なし>

【会長】

それでは、答申及び総合計画・総合戦略の微修正等につきましては、私に一任いただくということで、進めさせていただきたいと思います。皆さま、ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

【事務局】

会長、ありがとうございました。皆さま、ありがとうございました。

本日皆さまから頂戴しましたご意見につきましては、審議会の議事として公表する予定をしています。

また、本日皆さまから頂戴いたしましたご意見等を踏まえ、総合計画・総合戦略の最終案として取りまとめ、3月の大東市議会への議案提出を行っていきたいと考えています。

それでは、本審議会につきましては、今日が最後の会議となります。委員の皆さまの任期は3月末をもって終了となりますが、また、出来上がった答申や総合計画・総合戦略のご報告など、都度ご連絡を差し上げたいと考えておりますので、引き続きよろしく申し上げます。

それでは、これを持ちまして会議を閉会します。

皆さまには、2年にわたる長期間、お忙しい中審議会にご参加いただき、また貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。